

## コロナ同時期

### 体力低下傾向

#### スポーツ庁調査

スポーツ庁は8日、2022年度の「体力・運動能力調査」の結果を公表しました。同年度を含む最近10年間の体力テストの合計点（平均）を分析したところ、年間の体力テストの合計点（平均）を分析したところ、男子の一部年代で、新型コロナウイルス流行りほぼ同時に低下傾向だったことが判明。専門家は感染拡大に伴う部活動などの活動制限が影響したとみています。

### 中高生・大学生男子 部活制限が影響か

女7万4194人を対象に実施。5万63365人（回収率76%）から回答を得ました。

回市によると、体力テストの合計点（平均）について、最近10年間の推移を見たところ、成年（20～64歳）と高齢者（65～79歳）が男女ともに多くの年代で横ばいでした。一方、青少年（6～19歳）のうち、女子などが横ばいだったのに対し、中学や高校、大学生などに当たる年代の男子だけが、コロナ禍とほぼ重なる時期に低下傾向を示しています。

調査に協力した順天堂大学院の内藤久士教授（運動生理学）は「運動部活動をしている年代が、新型コロナの感染拡大に伴う活動制限で大きな影響を受けたことが一つの理由ではないか」と分析しています。